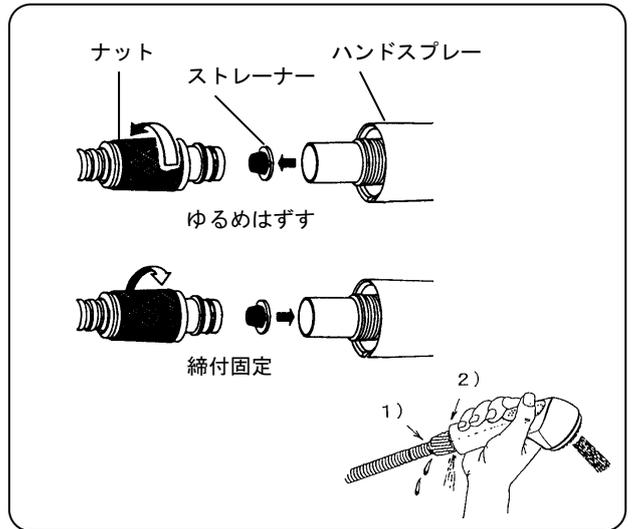


ストレーナー (図 10 参照)
(レディラックスプラス)

- ①レバーハンドルを止水状態にしてください。
 - ②ホースナットを緩めてハンドスプレーを取り外す。
 - ③ハンドスプレーの中に挿入されたストレーナーを取り出し清掃する。
- ※ホースナットがホースの根元に最後まで入っていること。ホースがホース根元で遊びが無く完全に固定されていること。ハンドスプレーを引き出したまま、開閉レバーを開栓し、接続部分から水漏れが無いことを確認してください。
- ※水漏れがあった場合、1)、2)にゆるみがないか確認し、再度上記の通り組み立ててください。
- ※ホースナットはハンドスプレーにしっかり確実に締め付けてください。接続部から水が漏れて、キャビネット内を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

図 10



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 8. 9. 13
水が止まらない	3. 4
温度不良	1. 3. 8
レバーがガタつく	5. 7
カウンター内に漏水する	6. 9. 10. 12
ホースが引き出せない	11

シールセット
4. キズ・ゴミかみはないか?

カートリッジ
3. 破損・ゴミかみはないか?

カートリッジ止ビス
5. 十分に締め付けてあるか?

スクリューセット
7. きちんと取り付けられているか?

ホースナット
12. 十分に締め付けてあるか?

ストレーナー
13. ゴミづまりはないか?

水漏れ防止パッキン
6. きちんと取り付けられているか?

カップリング
10. 破損・ゆるみはないか?

逆止弁
8. 破損・ゴミかみはないか?

ホース
9. 破損・ねじれはないか?

おもり
11. きちんと取り付けられているか?

止水栓
1. 全開されているか? 圧力は十分か?

泡沫器
2. ゴミづまりはないか?

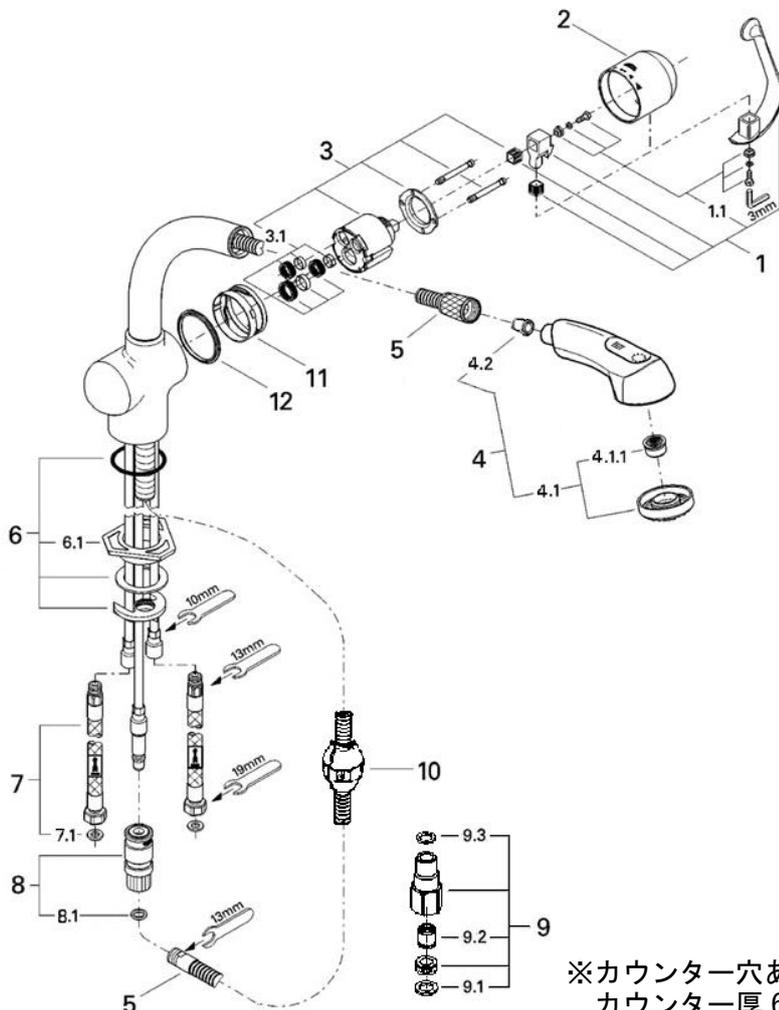
シングルレバーキッチン混合栓施工説明書

	一般地用	寒冷地用
レディラックスプラス	3 3 7 2 0	3 3 7 3 3
ゼトラ	3 3 7 4 4	3 3 7 5 3
ゼトラステンレス	3 3 0 2 3 S D	3 3 0 2 6 S D

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
 - この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
 - 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	レバー
1.1	スクリューセット
2	化粧カバー
3	セラミックカートリッジ
3.1	シールセット
4	HANDSPREYER
4.1	散水板
4.1.1	マウザーD
4.2	ストレーナー
5	ホース
6	締付セット
6.1	固定板
7	耐圧フレキ
7.1	3/8 パッキン
8	カップリング
8.1	Oリング
9	逆止弁アダプター
9.1	1/2 パッキン
9.2	逆止弁φ15
9.3	3/8 パッキン
10	おもり
11	ガイドリング
12	スムーズリング

※カウンター穴あけ寸法はφ36±1で行ってください。
カウンター厚 60mm 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバーが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設け、水受容器を設置してください。

施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 配管接続部を隠べいしないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 本体のガタツキ防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

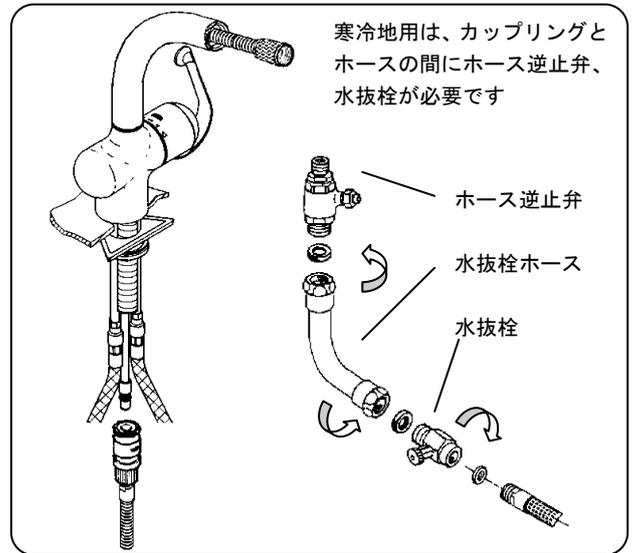
● 逆止弁（接続）アダプターの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ（TP1/2、R1/2）には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

7. ホース逆止弁の取り付け (図7参照)

寒冷地用の場合はホース側に逆止弁を取り付けるようになっております。

- ①ホースを13mmスパナで固定し、水抜栓を工具等で取り付けてください。
- ②水抜栓に付属のパッキンを使用して、水抜栓ホースの袋ナットを工具等で締め付けます。
- ③ホース逆止弁に付属のパッキンを使用して、水抜栓ホースのもう一方の袋ナットを工具等で締め付けます。
- ④ホース逆止弁にカップリングを手でねじ込んでください。この時、カップリングをプライヤーで挟むなど無理な力は加えないでください。
※パッキンを確認し、必要以上の締めトルクは加重しないでください。
※水抜栓ホースを締め付ける際は、ホースがねじれないように注意してください。

図7



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ (図8参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検してください。

- 止水栓とアダプターの接続部。
- アダプターと給水・湯給管の接続部。
- 給水・湯給管と本体の接続部。
- 本体とレバーの接続部。
- カップリングとホースの接続部。
- ホースとハンドスプレーの接続部。

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締め付を行ってください。

2. 水量・湯温の調節 (図8参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

3. ハンドスプレーの清掃

整流器 (図9参照)

- ①レバーハンドルを止水状態にしてください。
- ②整流器のキャップを付属工具、またはスパナ等の工具を使用し、ゆるめてください。
- ③整流器のゴミを取り除いてください。
※ハンドスプレー内部に砂等が入ることもありますので、押さえ板、スプリングを抜き取り、切替ボタンを押しながら通水させ、内部のゴミを洗い流してください。このときスプリングの紛失に特に注意してください。

図8

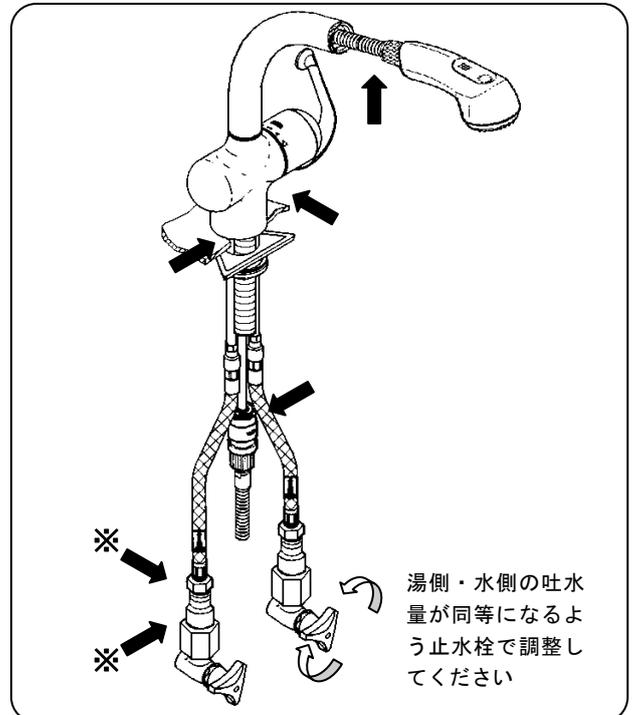


図9

